



地域の中でのみんなの居場所

ふれあいカフェでは、 いろいろなことができます！

お茶を飲みながらおしゃべりはもちろん、身体を動かしたり、学んだり。参加者だけでなく、ボランティアも一緒に交流を深めてみませんか？

ふれあいカフェでできる企画情報

1. 健康体操（一般社団法人リברים）
2. 暮らし見直し学習会（みやぎ生協ライフプランニング活動）
3. 認知症ミニ講座（各地域の地域包括支援センター）
4. 学びなおしミニ講座（仙台自主夜間中学）



1 元気に暮らしていくために無理なく楽しくできる健康体操をやってみませんか。



2 みやぎ生協 LPA（ライフプラン・アドバイザー）による、お金やくらしの知恵をいっしょに楽しく学びます。



3 認知症について地域包括支援センターの方に聞いてみませんか？



4 昔を思い出し、中学卒業程度の学習を学び直してみませんか。

※講座を開催したい場合は、開催月の2ヶ月前までに事務局へご連絡下さい。

カフェボランティアの交流

他のふれあいカフェやエリアを超えて開催しているカフェを見学し、ボランティア同志の交流ができます。自分達でつくる居場所づくりの参考に、ぜひやってみたいカフェは事務局までご相談ください。

COOP
MIYAGI

それぞれの取り組みの開催日程などをお知りになりたい方は事務局までお問い合わせ下さい。

みやぎ生協 居場所

検索



e~ba
い~ば

地域の居場所づくりニュース [Vol.7]

■発行：みやぎ生活協同組合 ■発行日：2019年5月17日
■お問い合わせ：〒981-3194 宮城県仙台市泉区八乙女 4-2-2 みやぎ生協生活文化部
(月～金 9:30～18:00、土日祝日休み) TEL.022-347-3826 FAX.022-218-5945
<http://www.miyagi.coop/>

COOP
MIYAGI



e~ba
い~ば

地域の居場所づくりニュース [Vol.7]

このニュースは、みやぎ生協で取り組んでいる「居場所づくり」の様子を紹介しながら、活動を横つなぎするツールとして発行しています。

名前の「e~ba(い~ば)」は、地域の「居場所」が「こち良い(いい)場所」になるといいな！との思いを込めて名付けました。



スマイルカフェのこれからについて、ざっくばらんに意見交換中。

被災者支援のカタチから 自分達のスタイルをつくる

スマイルカフェ(亘理店)

2019年4月、被災者支援としての集まり処「ふれあい喫茶」から、地域の居場所「ふれあいカフェ」へ移行した「スマイルカフェ」。

東日本大震災以後、被災された方々が集まれる場として、復興公営住宅でのお茶会から店舗での開催へと変化し、参加者の「自分達で場づくりをしたい」という想いがカフェへの移行となりました。

ふれあいカフェになった初回は、これまでも行ってきた小物作りを行い



布を使ってオリジナルカードケースを作成しました。



ました。お互いの近況などを話しながら、思い思いの布を使った味わいのあるカードケースをにぎやかに見せ合いっこです。

間口を拡げて地域の誰でもが参加できる「スマイルカフェ」は、支援す

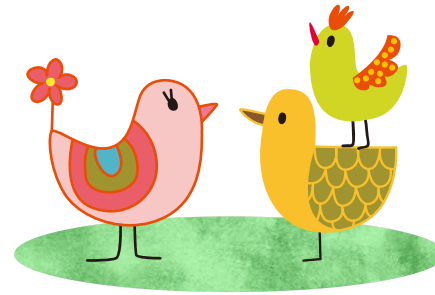
る側とされる側ではなく、参加者みんなでつながる場・楽しむ場をつくろうとしています。

新しい企画も取り入れながら、毎月1回月曜日 10時～11時半 亘理店メンバー集会室で開催します。



地域の居場所づくり 活動紹介

地域にはさまざまな活動や居場所づくりをしている団体があります。居場所づくりの視点を広げてみましょう。



多世代交流で楽しむ ふれあいカフェ「パレット」&子育てひろば「くれよん」(岩沼店)



音楽は心が癒されます、と参加者の声。

4月16日(火)岩沼店ふれあいカフェ「パレット」では、「ウィンドアンサンブルブレイメン」(以下ブレイメン)によるミニコンサートが開催されました。ブレイメン代表の佐藤清和さんによるクラリネットの演奏は、柔らかな音色でカフェの空間を包みこんでいきます。カフェに参加している方々は、近所の高齢者施設からも参加しており、リラックスした様子で生演奏を聞き入っています。

佐藤さんが「子育てひろばも同時開催していると聞いたので、子どもたち向けの曲を用意してきました。」と、「さんぽ」を演奏し始めた時のことです。隣の子育てひろばで遊んでいたお子さんが、この時だけは遊びをやめ演奏しているスペースに移り、じっと聴き入っています。その様子を眺めていた高齢の参加者は、まるで自分の孫を眺めるように、とてもやさしい素敵な表情をみせていました。

子育てひろばと同時開催しているこのカフェでは、お年寄り子どもが一緒に過ごせる場所をめざしています。カフェのボランティアスタッフ(以下カフェボラ)は、子育てひろばの学習会にも参加し、いろいろな世代が参加できるこの場を作っているそうです。「さんぽ」の曲が流れていたカフェの雰囲気は、カフェボラの方々がめざしている居場所なのです。



高齢の方と若い世代が気軽に交流できる場があったら、地域のつながりも広がっていきま

すね。
○開催日:毎月第3火曜日 10時半~12時
(8・3月休み)



子ども達も遊びながら流れる音楽を聴いています。



親子の集まり処

JINA食堂—みんなあがいん—(みやぎ生協福祉活動助成団体)



こどももできることをお手伝いします。

富谷市成田の中で、親子が集まり賑わう場として「おやこ食堂」を開催しています。4月20日の食堂には、約100名の親子が参加しました。参加する親子は、成田地域だけにとどまらず、利府や塩釜など他の市町からも参加するそうです。

子育て世代が多い地域ですがこどもの居場所が少ないと感じ、2019年1月に地域の居場所として「JINA 食堂—みんなあがいん—」を立ち上げました。会場となっている

のは、NPO 法人ふうどばんく東北 AGAIN の事務所。立上げ当初はこの事務所の一角を借りて、ママたちが鍋釜を持ち寄ってごはんを作り始めました。

いろいろな人との交流が生み出すもの

近所のおじさんたちも足を運び、草木を使った遊びを教えてくれたり、外遊びを見守っています。

「ここでは、学校で何かあったとしてもただ集うだけ、会うだけで楽しい友達がいる。ちょっとした事で手伝うと本気で喜ぶ大人がいる。自分が必要とされていることが実感できるんですね。だから、ここが楽しいと言うんだと思います。」と代表の富樫花奈さん。地域の

の心地よい居場所づくりのアイデアを膨らませています。



いろいろな体験が子どもの育む場となります。参加する人達のちょっとした活躍の機会を作ること参加の意欲を高めます。

○開催日:毎月1回 15時~19時半

○会場:富谷市成田8丁目1-1
(NPO法人ふうどばんく東北AGAIN内)

New! 美里町にこども食堂がOpen

みさとひまわり食堂の会(みやぎ生協福祉活動助成団体)

4/5(金)美里町駅東地域交流センターで「みさとひまわり食堂」がオープンしました。食材やスタッフのお揃いのエプロンなどは、みやぎ生協福祉活動助成金を活用しています。開所式には美里町長も駆けつけ祝辞を述べられました。

作る人と食べる人が共に笑顔になれる「食事処・居場所」になれるよう、「出会い」と「つながり」を大切にしたいと代表の佐藤和恵さんは話します。代表の同級生や趣味つながりの方々19名で始まった「みさとひまわり食堂」は、社会福祉協議会や地域の方々の協力を得ながら温かいごはん地域をつなぐを創ります。



つながりを活かした仲間づくり。
地域まるごと応援する協力者を挙げます。

○開催日:毎月第1金曜日 16時半~18時半
○会場:美里町駅東地域交流センター

